

---

# 日本ロシア文学会第 62 回大会 プログラム

---

2012 年 10 月 6 日 (土) ~ 7 日 (日)  
同志社大学 (今出川校地新町キャンパス)

▶▶▶ 全体プログラム ◀◀◀

初日企画 10月6日(土)	09:20-09:35	開会式 臨光館 2 階 R204
	09:40-11:35	研究発表 臨光館 2 階 R204, R205, 3 階 R302
	11:40-13:00	昼食休憩 理事会 臨光館 2 階 R206
	13:00-16:55	研究発表 臨光館 2 階 R204, R205, 3 階 R302
	14:25-16:55	ワークショップ 臨光館 3 階 R302
	17:00-18:00	定例総会 臨光館 2 階 R204
	18:00-18:30	各支部総会 臨光館 2 階 R204 (関西支部)
第 2 日企画 10月7日(日)	09:15-12:30	研究発表 臨光館 2 階 R204, R205, 3 階 R302
	12:35-13:50	昼食休憩 各種委員会 臨光館 2 階 R208 (編集委員会), R209 (ロシア語教育委員会), R210 (広報委員会)
	14:00-17:30	4 学会合同シンポジウム 臨光館 3 階 R301
	17:30-17:45	ICCEES 大会についてのアナウンス 臨光館 3 階 R301
	18:30-20:30	4 学会合同懇親会 御所西 京都平安ホテル

## 第1日研究発表・ワークショップ 10月6日(土) 臨光館2階・3階

第1会場 2階 R204				
ブロック・日時	番号	発表者	題目	司会者
ブロック① 10月6日 9:40-11:35	A01	山下大吾	『エヴゲーニイ・オネーギン』における序と1章冒頭部との関連について	川端香男里 坂庭淳史
	A02	杉野ゆり	A. C. プーシキンの論文『アレクサンドル・ラジーシチェフ』について——『青銅の騎士』研究の視点からの考察	
	A03	金沢友緒	A.K.トルストイの初期作品における創作の手法	
ブロック② 10月6日 13:00-14:55	A04	坂中紀夫	Ф.М.ドストエフスキーの手記形式と倫理——『未成年』と『作家の日記』——	番場 俊 松本賢信
	A05	加藤純子	コミュニケーションと沈黙の問題:社会心理学的観点から見た『カラマーゾフ兄弟』	
	A06	高橋知之	プレシチュエーフの青春——ペトラシエフスキー・サークルの「預言者」	
ブロック③ 10月6日 15:00-16:55	A07	高田映介	チャーホフの『谷間』と19世紀後半のロシア社会との関係	齋藤陽一 望月恒子
	C01	内田健介	モスクワ芸術座の『桜の園』再考	
	A08	中澤佳陽子	フォードル・ソログープの『創造される伝説』について	
第2会場 3階 R302				
ブロック・日時	番号	発表者	題目	司会者
ブロック⑥ 10月6日 9:40-11:35	A14	八木君人	明視と虚視:トィニャノフにおける「運動」と「意味」	杉本一直 中村唯史
	A15	澤 直哉	ウラジーミル・ナボコフ『マーシェンカ』における「顔」の不在	
	A16	武田昭文	ヴラジーミル・デルジャールヴィンの長篇詩『本源的蓄積』——1930年代の知られざる傑作——	
ブロック⑦ 10月6日 13:00-14:15	B01	Шатохина Ганна	Русский язык в сети (учебные материалы)	堤 正典 林田理恵
	B02	Клочков Юрий	Методика преодоления грамматических ошибок японских учащихся при изучении категории вида в русском языке.	
ワークショップ 10月6日 14:25-16:55	W-1		ロシア文化史の中の対ナポレオン戦争 鳥山祐介, 越野剛, 福間加容, 梅津紀雄, 大森雅子	
第3会場 2階 R205				
ブロック・日時	番号	発表者	題目	司会者
ブロック⑨ 10月6日 9:40-11:35	C02	有泉和子	對馬事件関係文書を読む	木村 崇 渡辺雅司
	C03	太田丈太郎	鳴海完造日記:小山内薫のモスクワ	
	C04	斎藤慶子	日ソ文化交流におけるチャイコフスキー記念東京バレエ学校——ソ連文化省資料を追って	
ブロック⑩ 10月6日 13:00-15:35	C05	鳥山(森本)頼子	18世紀後半のモスクワにおける劇場文化の再考——シェレメーチェフ家の農奴劇場とマドックスの劇場を中心に	上田洋子 楯岡求美
	C06	池坂麻記	メイエルホリドの『曙』上演	
	C07	Ибрагимова Елена	О происхождении и назначении «слуг просцениума» Мейерхольда	
	C08	篠崎直也	ニコライ・エヴレイノフのモノドラマにおける「身体」	

ブロック⑪ 10月6日 15:40-16:55	A17	竹内恵子	ヨシフ・プロツキイとロバート・フロスト	岩本和久 野中 進
	A18	松下隆志	現代ロシア文学におけるソ連イメージの変容 —V.ソローキン『マリナーの三十番目の愛』と M. エリザベロフ『図書館員』をめぐって	

第2日研究発表 10月7日(日) 臨光館2階・3階

第1会場 2階 R204				
ブロック・日時	番号	発表者	題目	司会者
ブロック④ 10月7日 9:15-11:10	A09	東 和穂	可能なる象徴主義演劇—アンドレイ・ペールイ 『コーチク・レターエフ』に於ける演劇的要素—	北見 論 長谷川章
	A10	松本隆志	ペールイ初期の散文作品における語り	
	A11	石原公道	ブルガーコフを巡る3人の女性 追悼 リヂヤ・ヤ ノーフスカヤ	
ブロック⑤ 10月7日 11:15-12:30	A12	樫本真奈美	M.ツヴェターエワ『プーシキンとプガチョフ』 —プガチョフの善悪と昔話の機能—	V. グレチコ 前田和泉
	A13	Жданов В.Н., Судзуки Д.	Лингвокультурологический подход к эстетике К.Паустовского (к 120-тилетию со дня рождения)	
第2会場 3階 R302				
ブロック・日時	番号	発表者	題目	司会者
ブロック⑧ 10月7日 9:15-11:50	B03	人見友章	ロシア語の受動文—不定人称文と比較して	高橋健一郎 野町素己
	B04	世利彰規	話法と比較した挿入文の特徴	
	B05	岡野 要	現代ロシア語の「移動動詞」再解釈 —移動の進展性の観点から—	
	B06	朝妻恵里子	ロマン・ヤコブソンの格理論における「周縁性」	
第3会場 2階 R205				
ブロック・日時	番号	発表者	題目	司会者
ブロック⑫ 10月7日 9:15-11:10	C09	本田晃子	映画は建築する—G.アレクサンドロフ監督『輝ける 道』から見る全連邦農業博覧会	大平陽一 I.メーリニコワ
	C10	高橋沙奈美	後期社会主義体制下の日常生活と新儀礼	
	C11	宮風耕治	現代ロシアSF文学界における読者共同体の顕在化 —SF情報サイト「Лаборатория фантастики」をめぐって—	
ブロック⑬ 10月7日 11:15-12:30	C12	北井聡子	嫉妬してはならない—コロンタイ思想における集 団主義—	草野慶子 黒岩幸子
	C13	江村 公	個と集団の経験としての文化—パフテレフによる 「身振りと言葉」をめぐって	

4学会共同シンポジウム 10月7日(日) 14:00-17:30 3階 R301

3階 R301	リーダーとリーダーシップを作るもの 日本ロシア文学会, ロシア・東欧学会 ロシア史研究会, JSSEES	司会: 望月哲男, 鴻野わか菜, 下斗米伸夫 報告者: 三浦清美, 村田真一, 池田嘉郎, 永綱憲悟
------------	--	---

#### 4 学会合同懇親会のご案内

日時：10月7日(日)18時30分より

会場：御所西 京都平安ホテル 2階宴会場「東山」の間(立食形式)

〒602-0912 京都市上京区烏丸上長者町上ル Tel：075-432-6181

\* 地図をご参照ください。地下鉄「今出川」駅からは同志社大学とは反対方向、南に徒歩約7分です。

会費：一般8,000円，大学院生4,000円

懇親会会場案内図

